

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 28 年度期末）

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

- (1) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
- (1-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (1-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (1-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (1-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズに応じた活動支援について、各課題に対応した支援を実施し新たな活動や事業が構築され、評価できる。 ・ 大型分譲マンションへのアプローチ支援として、マンション管理組合等への繋がりづくり、結果の分析を行ったことは有効であった。この結果を効果的に利用し、地域活動への参加・参画に繋がる様、支援方策を構築してもらいたい。

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災の取組みをツールとした地活協構成団体間、地活協間の連携の構築支援について、地域ニーズをくみ取り丁寧な支援を実施し、連携構築に至ったことは評価できる。新たな取組みにより地域課題の解決を図る地域が増加するよう、地域課題や支援策の共有、他区の好事例の共有等、引き続き支援を実施してもらいたい。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に研修を実施しており、まちづくり支援員のスキルアップ、地域情報の把握等が有効に図られている。研修テーマによっては対象を地域役員等に広げて実施しており、本研修から地活協会会長会、地活協勉強会に議論が広まる事例もあり、有効であった。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）：目標等の達成状況の評価

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・つながりの拡充に向け、転入者に対して地域活動の紹介冊子配付は効果的であった。また作成においては地域活動協議会勉強会にて地域と検討を重ねて作成しており評価できる。

5 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	・地域課題等の把握について、地域派遣型まちづくり支援員体制により地域実情や近隣地域の情報入手・共有が行われている。また、分析・整理について、区と協働で「地域カルテ」を作成し、今後の支援方策の検討に活かされた。課題の把握、共有、分析により地域活動協議会勉強会や情報共有会に繋がっており、おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	・おおむね本市の求める水準どおりである。 目標（支援策）の明確化、戦略・シナリオの策定において「地域カルテ」⇒「見える化」は有効であるが、受託者の記載のとおり今後は地域と行政（まちセン含む）との双方向の理解は不可欠である。区とまちづくりセンターとの役割分担を整理し、丁寧に支援する必要がある。
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	・事業の目標である「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組み（イメージ）のステージ1の全項目、ステージ2の達成状況や区政運営方針に基づく取組みを確認しており、未達成部分の分析や達成目標、支援方策は連動ができています。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一律的な支援から、地域課題や地域実情・地域の将来像を踏まえた個別支援の転換期であった本年度において、的確に地域実情を捉え支援が実施された。地域において、新たな課題に取り組み、その支援をまちづくりセンターに求めて取り組みが発展した事例もでてきており、支援が有効になされたと評価する。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない